

生活を見つめ 豊かな学びをつくる家庭科

— 守ろう いのち・くらし・人権 —

《日時》 2025年 8月2日(土)・3日(日)

《会場》 奈良教育大学 (〒630-8528 奈良市高畑町)

たかばたけ

JR 奈良駅【東口】2番のりば 市内循環・外回り 15分「高畑町」下車徒歩1分

近鉄奈良駅【西北出口】1番のりば 市内循環・外回り、中循環・外回り 10分「高畑町」下車徒歩1分

対面開催

《日程》

8/2 (土)	受付 9:30~	実技交流 10:00 ~11:20	昼食休憩 11:20 ~12:20	開会行事 12:20 ~13:00	記念講演 13:00 ~14:50	テーマ別分科会 15:10 ~16:50	家教連総会 17:00 ~18:20	夕食交流会 19:00 ~20:30
8/3 (日)	特別支援・小学校・中学校・ 高校別分科会 9:30~12:00			昼食休憩 12:00 ~13:00	特支・小学校・中学 校・高校別分科会 13:00~15:30	閉会行事 15:40 ~16:10		

記念講演

「家庭科の根源的使命—歴史学からのアプローチ」

ふじはら たつし

講師：藤原 辰史さん

(京都大学人文科学研究所 准教授)



家庭科の母体である家政学の誕生にまでさかのぼり、家庭科の課題は一体何なのかについてラディカルに考えます。私は、家庭科はかしこい消費者にさせるための科目ではなく、環境や社会との関係のなかで生きる術を学び、生きるための思想を探る学問だと思っています。そのために、家政学の歴史を振り返りつつ、その可能性について議論していくことが必要です。

＜後援＞ 奈良市教育委員会 東京新聞横浜支局

＜主催＞ NPO 法人家庭科教育研究者連盟

第1日目 8月2日(土)

実技交流 10:00~11:20

小学校から高校まで、授業ですぐに使える実技が体験できます!

材料・用具は用意してあります。

手ぶらで気軽にご参加ください。

予定

授業で取り組むスウェーデン刺繍 織って作る布のたわし

みつろうラップ作り お手玉を作って遊ぶ

「わたしのふく」絵本作り ポリ袋で作る防災食

開会行事 12:20~13:00 *「夏季研究集会にあたって」等

テーマ別分科会 15:10~16:50

①	原発事故から14年、放射能問題を問う 今中哲二さん(京都大学複合原子力科学研究所研究員) 14年前に日本でも原発事故が起きた。放射能汚染が続いている。『40年で廃炉』はすでにマボロシ。気候変動問題に関係した『カーボン・ニュートラル(脱炭素)』への流れを背景に、『GX』という中身のよく分からないキャッチフレーズで原発への追い風を作り、『再稼働の加速』と『運転寿命の延長』に持ち込もうという作戦である。原発の抱える「事故の危険性」と「放射性廃棄物の厄介さ」、そして核オプション問題から私たちの社会は原子力を利用すべきではない。地球と子どもたちの未来を守りましょう。
②	子どもと学ぶ 性と生 渡邊安衣子さん(助産師・看護師) 学習指導要領のはじめ規定により性教育の範囲が狭まり、子どもたちが適切な知識を得る機会がとても少ない現状。生きることそのものに直結する性の学びを、どのように家庭科の授業で取り入れていけるのか。京都あいこ助産院院長で、株式会社 PLATICA 代表取締役でもある渡邊安衣子さんを講師にお招きし、授業で使えるロールプレイングやグループワークを提案していただきます。明日からの授業のヒントが見つかります。
③	家庭科で何をどう教えるか 大矢英世さん(家教連会長) 日々の授業を楽しめていますか?どのくらい教材研究の時間を捻出できていますか?教育統制が強められ自由度が低下する中で、どのように授業づくりをしていったらよいのでしょうか。家庭科は目の前の一人一人の児童・生徒の生きることすべてが学びの対象となる魅力的な教科です。楽しみながら授業準備ができるようでありたいです。表面的な理解ではなく、それぞれの奥深くにしっかりと根付く学びをつくっていくために必要なことは何かをみなさんと共に考えていきたいと思います。

家教連総会 17:00~18:20

夕食交流会 19:00~20:30



会場:百楽奈良店
交流を深めましょう!



学校種別分科会

9:30～15:30 (昼食休憩 12:00～13:00)

特別支援	特別な支援を要する児童生徒の状況は多様化しています。特別支援教育を取り巻く状況について各地の実態を出し合い、子どもたちの人権や命の尊厳を守り発達を保障するために何が必要かを考えましょう。今回は、特に特別支援教育における性教育について焦点をあてて各校の現状や悩みを出し合い、実践のアイデアを交流していきます。また、子どもたちが学ぶ意欲をもち、自分をみつめ自信をつけていく授業づくりについて実践報告を通して検討します。さらに、小・中・高の連携、通常学級に在籍する特別な支援を要する児童・生徒への支援、特別支援学級と通常学級との関係についての実態と課題についても話し合ってください。
小学校	ICT教育が進められている中、家庭科では調理実習をしたり、製作活動に取り組んだり、本物に触れ、手を使って、子どもたちが生き生きと活動し学ぶ姿が見られます。生活からスタートし、健康で文化的な生活を送るための知恵や技を学び、自分の周りや社会にも目を向け、発信する家庭科。その魅力と可能性を確かめ合ひましょう。 子どもを取り巻く環境や学校の実態・家庭科をめぐる状況を交流し、子どもの声に耳をかたむけ、共につくる授業に向け、実践をもとに話し合います。日頃の悩みなど、気楽に語り合い、交流しましょう。
中学校	家庭科の授業を通して、子どもたちにどんな力をつけたらいいのか、授業時間が少ない中での実習や製作をどうするか、ICTを使うメリット、デメリットをどう考えたらいいのか、観点別評価・評定はこれでもいいのか、そもそも教材研究する時間が十分に取れないし…などなど、悩みは尽きません。そんな悩みの解決に役立つヒントがたくさんもらえる分科会です。午前は、学校や子どもの様子を参加者同士で交流したり、4月から使われている新教科書の検討をしたりします。午後は、授業実践の報告(2本予定)をうけ、子ども主体の授業づくりや評価・評定について話し合います。参加すると、元気がでること請け合いです!
高校	多くの高校で家庭科必修科目は「家庭基礎」になっています。そんな厳しい条件の中で、悩みの一つが「被服製作」をどうするかではないでしょうか。そこで午前の高校全体会は「衣生活」なかでも「被服製作」に焦点をあてて研究を深めたいと思います。「衣生活」でつけたい力や被服製作の教材について、報告や提案やミニ実習(多少の実習費負担あり)を交えながら検討します。皆さま、現在行っている被服製作の作品も持ち寄って交流しましょう。 午後は授業実践報告を受けて、「主権者を育てる授業」をめざして授業作りを話し合います。そして各地の家庭科や生徒の様子を交流しましょう。

閉会行事 15:40～16:10 *感想発表など

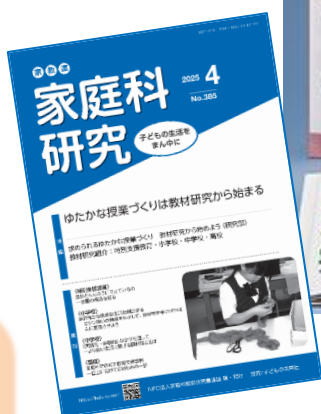
交流のひろば&販売コーナー

交流のひろばは、参加者が自由に作品を持ち込んで展示し、実践を交流する場で、常時開設しています。

出品・展示、実践の公開をしてくださる方は事務局へご連絡ください。↓

〈例〉

授業者の資料・ワークシート・段階見本・テストなど
生徒の作品・ノート・レポート・新聞など
教材研究に使えるDVDや絵本・写真・参考図書など
「お土産」に…家庭科通信・プリント類・手作り小物



↑ 販売コーナーには、「家教連家庭科研究」バックナンバーをはじめ、家庭科関係の書籍がたくさん並びます。老舗の特売品や手作りの出店もあります。毎回好評につき、売切れご免!

《参加費》

	会員	一般	学生
全日程参加	4000円	4500円	1000円
1日のみ参加	2000円		500円



《保育》 3歳以上を受け入れます。半日につき1000円。会場受付にてお支払いください。

《宿泊》 実行委員会では取り扱いません。各自で宿泊先の確保をお願いします。

参加申込み・支払い方法

締切り 7/29(火)

(1) 申込み専用フォームで申し込む この URL または QR コードからお申込みください。

<https://forms.gle/tSMUk3pF1mPQY4C6A>



(2) メールで事務局へ申し込む si300171-6484@tbz.t-com.ne.jp

その際①～⑫について記入してください。

- ①名前(フリガナ) ②(会員・一般・学生)の別 ③E メールアドレス ④TEL(携帯) ⑤住所
- ⑥所属(学校・団体) ⑦参加希望の学校種別分科会(特・小・中・高)
- ⑧参加日程(2日間・1日目のみ・2日目のみ) ⑨夕食交流会(5,800円)に参加(する・しない)
- ⑩2日目弁当(お茶付き 1,000円)を注文(する・しない)
- ⑪保育申込み(1日目/2日目・保育児名・年齢) ⑫振込み合計金額

(3) 申込み専用フォーム・メールが不可の場合は、電話でお申し込みください。

(携帯 080-1114-6294)

(4) 参加費等を振り込む

【振込先】ゆうちょ銀行：記号 10550 番号 96661681 (ヤチキョウコ)

他銀行口座からの場合：店名 ○五八 店番 058 貯蓄預金 9666168

.....

◆夕食交流会の会場「百楽奈良店」近鉄奈良駅ビル 8F

(奈良市東向中町 28 TEL0742-24-2771)

◆感染症予防にご協力をお願いします。



—お問い合わせ— 家教連事務局 谷内
si300171-6484@tbz.t-com.ne.jp
 (携帯)080-1114-6294

